



ペンペン草



塩尻市要約筆記グループ機関紙 59号 : H29. 3. 31



●手書き班例会報告

コミュニケーション能力をあげるために

手書き班

保健センターの会場確保がこのところ難しいため、ふれあいセンター広丘のボランティア地域交流室をお借りしての例会開催。

要約筆記の書く勉強から少し離れて、まずは人としてのコミュニケーション能力をあげましようとの内容です。

ポイントは5つ。(心の声付き)

- ①第一印象をよくする・・・(手遅れ感もあるがこれからに期待)
- ②聞き上手になる・・・(これは少しできるかも)
- ③質問上手になる・・・(時々の外れになる)
- ④信頼関係を築く・・・(回復の余地はあるのか!?)
- ⑤盛り上がる話題を選定する・・・(アンテナを高くしよう)



pixta.jp - 8749713

それぞれの内容も詳しくやりましたが、すべてをすぐに実践するのは難しい。とりあえず私がやってみようと思ったことは、①。1分もかからずに決まってしまうらしい第一印象。そのうち視覚や聴覚情報が9割だとか。

あいさつは声を出してから、礼をして、口角を上げて笑顔で、ゆっくり話して、コミュニケーション能力をあげようと思います。

詳しく知りたい方は、下記を参考に。

<http://re-sta.jp/improve-communication-skills-1209>

●パソコン班例会報告

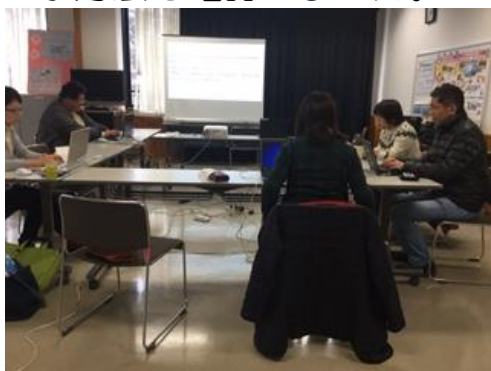
スキャナを使った素早い前ロール作り

パソコン班

パソコン班では昨年末から、本番寸前に紙の資料が届くといった、急な依頼に対応するため、より素早い前ロール作りの練習を始めました。

まずは購入したばかりの、スナップスキャンで、紙の原稿を取り込みます。そのデータをOCRでテキストに変換、メンバーに作成いただいた、秀丸エディタのマクロで書式を前ロール風に一括で整える方法を学びました。

更に、聴覚障害者が舞台上上がった場合、スクリーンが見えないという問題への対応のために、IPtalkからスマホ・タブレットなどのモバイル端末への表示方法も確認しました。



正直言って、機械音痴な私にとっては、まだまだチンプンカンプンなところも多いのですが、より良い支援が提供できるよう、苦手なことにも取り組んでいきたいと思います。とはいえ…やはり難しいです(>_<)

- 11/27
 - ・スナップスキャン使い方
 - ・秀丸を使って前ロール作成の復習
- 12/25
 - ・スキャナと秀丸マクロを使った、より素早い前ロール作りの復習。
 - ・無線LANを利用した通訳（IPtalk）のモニタリング
 - ・Wordを利用した前ロール変更点の確認方法の学習
 - ・IPtalkからスマホ・タブレットなどのモバイル端末への表示を試す
- 1/26
 - ・交流会
- 2/26
 - ・入力練習、話し合い。
- 3/26
 - ・前ロール作成手順確認、表示機画面調整の確認



●ブログ紹介

大相撲放送の字幕



なすなの会

昨日の大相撲大阪場所の千秋楽は感動的だった。

音声が聞こえない私が全国の人々と、リアルタイムで感動を共にできたのは、ひとえに字幕放送のおかげであると感謝している。

大相撲の字幕放送では、以前は、アナウンサーの実況と、解説者とのやりとりだけの字幕であったが、最近では <歓声・拍手>という、場内の様子を伝える情報も出されるようになってきている。タイミングよく、いわゆる同時性が保たれるのは、あれは多分、単語登録をしてあるからに違いない。

昨日は、その <歓声・拍手>の字幕が、何度も何度も出た。

それはそれでありがたいのだが、その<歓声・拍手>が、どの程度のものであるのかは字幕だけではわからない。カメラが場内の興奮状態を同時に映し出すことによってのみ、歓声の大きさも、拍手の大きさも、「目で聴く」ことができるわけだ。字幕の「同時性」の大切さを実感できる場面であった。

昨日の場合は、さらに、解説の北の富士さんが、

「こんな大きな歓声は過去に耳にしたことがないね」

とおっしゃったことで、それが未曾有の歓声であることを知った。だから、稀勢の里が泣きだした原因も、想像（共感）できた。

稀勢の里については、過去には、立ち合いが狡いとか、にらみ合いが汚いとか、必ずしも好意的でない声もあった。ところが昨日は会場が、ワン・ソウルの大声援、彼はそれが嬉しかったのだ。私もテレビで、全国の視聴者と同時に感動を共にできたのは嬉しかった。なお、凶らずも引き立て役となってしまった照ノ富士も、前日とは異なり、この日は逃げずに、正々堂々正面からあたってきた。そのことも言い忘れてはいけない。



【難聴日記・あしたどーなる 2017年3月27日より許可をいただき転載させていただきました】

●最近読んだおすすめの本 その1

パソコン班

「淋しいのはアンタだけじゃない」①②小学館ビッグコミックス

吉本 浩二

またまた漫画です(笑)。12月頃、信毎の書評欄で、ある評者の年間ベストコミックスのような感じで紹介されていて、聴覚障害を扱っているというので興味を持ち、買ってみました(書店になくてセブンネットで)。

作者自身も登場するドキュメンタリーという感じ
です。ひょんなことから聴覚障害者に関わることにな
った作者が、その内面にどんどん入り込んでいきま
す。特に、聴覚障害者のコミュニケーション不全感や耳鳴りの辛さなどを絵で
表現する感性が素晴らしい!私もこういう感性を常に持ちたいと思います。

ネタバレになるので、あとは読んでみて下さい。



●最近読んだおすすめの本 その2

パソコン班

『「トルコで私も考えた」シリーズ』(コミックエッセイ)

高橋由佳利

私の中では、りぼんに「プラスチック・ドール」を書いて高橋
由佳利先生ですが、この本は全く違って、コメディタッチです。

この本を偶然本屋で見つけて、すっかりトルコにハマってしまいました。

作者がトルコ旅行で知り合った現地で旅行会社をやっていた男性と知り合い、結婚し、トルコに家を持ち、そのトルコでの生活や濃厚な家族・親せきづきあいの話などが書かれていて、とても面白い内容になっています。



トルコはイスラム圏なのに政教分離が完全にされていて、人によって信仰の度合いに大きな開きがあります。ラマダン（断食）の習慣は有名ですが、食べていけないのは太陽が出ている間だけ、よって日の出前と日没後にいつも以上に馬鹿食いをして、逆に太ってしまうとか(笑)。

この本に私のはまった大きな理由は、描かれている世界三大料理の1つ、トルコ料理のとても美味しそうなこと！同じく世界三大料理である中華料理やフランス料理は身近な食べ物なのに、トルコ料理はあまり知られていません。一般に知られているのはドネルケバブやトルコアイスぐらいでしょうか。美味しそうなレシピもたくさん載っています。

是非トルコ料理を食べてみたい！と思い、トルコ料理店に行ったことがあります。そこで飲んだチャイは本当に絶品でした。肝心の料理はというと、残念ながら羊肉のニオイが強くて私には合わず、違う料理を頼めば良かったと後悔しきりです。



超親日国でもあるトルコにいつか行ってみたいと思っていましたが、今は外務省が渡航情報を出す国になってしまっています。いつか安全に旅行できる国になってくれると良いのですが・・・



●リレーエッセイ



「マイブーム」

パソコン班

マイブーム、今ハマっていることを考えたとき最初に浮かぶのは読書がまず出てきますが、小学校の頃から推理小説やドキュメント本などいろいろ読んでいるため、生活の一部になっているように思います。

その他に毎日のようにしていることを考えて出てきたのが動画閲覧になります。動画も動物物や車載動画（事故系）などいろいろ見ますが、一番好んでみるのはゆっくり解説動画です。

このゆっくり解説動画はゆっくり音声という音声合成ソフトを利用して、アニメや歴史、火山などと言ったいろいろな物を紹介・解説するものです。いろいろな人がいろいろな知識を使って説明しているため雑学的な知識が増え、楽しく見ています。また、コメントで投稿主が勘違いしていることなどを訂正したりする人がいるので、かなり面白いです。



たいていは5分から10分くらいの動画が多いですが、中には30分近くある動画もあります。そういうものはパソコンで作業するときのBGM代わりにスマホで再生したりしています。

中には間違いが多くてコメントで突っ込まれまくられたりするものもあるので鵜呑みにするのは危険だったりもしますが、専門家でない人が作っているため、動画の味として見るようにしています。

こんなところで、マイブームについて終わりたいと思います。

編集後記

ちょっと暖かくなったかと思ったら突然の雪。まだまだ油断は禁物ですね。とはいえ、今日は長野で桜の開花宣言、着実に桜前線は北上し、花粉は舞い飛び鼻もムズムズ。皆さんの花粉症対策を教えてください。

機関紙へのご意見、ご提案、寄稿、情報、お待ちしております。